

第7回 3委員会意見交換会 議事概要

日時：令和8年2月27日（金）14時00分～16時20分
場所：奈良県経済倶楽部 5階 会議室
出席者：委員長 村上興正（奈良のシカ保護管理計画検討委員会 委員長）
委員 立澤史郎（奈良のシカ保護管理計画検討委員会）
松井 淳（春日山原始林保全計画検討委員会 委員長）
尼崎博正（奈良公園植栽計画検討委員会 委員長）
オブザーバー
中西康博（奈良のシカ保護管理計画検討委員会）
杉山拓次（春日山原始林保全計画検討委員会）
事務局 奈良県観光局 奈良公園室
奈良県観光局 奈良公園事務所

●各委員会の取組について

（春日山原始林計画検討委員会）

- ・侵入したナギを伐採し保護柵を設けた場所では、植生の顕著な回復が見られた。
- ・保護区には、原始林の目標設定、維持管理、広域なシカの動態や、樹林内のシカの行動特性などといった面からも検討する必要がある。

（奈良公園植栽計画検討委員会）

- ・登大路園地の芝の再生計画では、導入する手法によって、生育環境の大きな改善が見込めるが、さらに丁寧な養生をするための区域割りや、人やシカによる生育への影響を検証することで、公園内の他の芝地の管理に有用なデータが得られるのではないかと。

（奈良のシカ保護管理計画検討委員会）

- ・夜間の大量のくず野菜といった悪質な餌やりの対策・体制が課題である。
- ・平坦地や春日山、その周辺のシカの動態把握が必要である。

●3委員会での協力、情報共有について

- ・3委員会での情報共有だけではなく、委員どうしが行き来するなど、より高度な情報交換が必要である。

●奈良公園全体にかかわる方向性について

- ・奈良公園全体の生物多様性などについて検討する場が必要である。